

-----

○空き巣に関する注意喚起

-----

昨年12月に引き続き1月に入ってからオデルゲム区及びウォルエサンピエール区の在留邦人が多く居住する地域で邦人宅への空き巣及び同未遂が発生しています。

未遂の事案については、不在時間が夕方の数時間であったこと、扉と枠が強固（鉄扉及びマルチロック）であったため未遂となりましたが、数週間前には同じマンションの他階で同様の被害が発生していた模様です。

一般的な自宅防犯の留意点は以下のとおりです。

- ・ベルギーでは人口10万人あたりの侵入盗の発生率が日本に比べ約10倍もあることを認識しておいてください。
- ・共同玄関が施錠されているマンションにおいても、共同玄関及び駐車場から他の住人と一緒に容易にマンション内に入ってくるができますので、自宅の玄関等の侵入が可能な場所を強化することが重要です（必要に応じ大家に依頼する）。
- ・他の住人と情報を共有し、不審者を敷地内には入れないようにする。
- ・短時間の不在（買い物や子供の送迎等）においては、テレビやラジオをつけ、中に人がいるように見せかけることもある程度効果的と言えます。
- ・自宅や他の住人宅において侵入若しくは未遂があった場合、同じマンションで同様の事案は当分ないということはなく、侵入が容易な場所として再度狙われる可能性があることを認識しておいてください。
- ・万一、侵入されることも想定し、貴金属等の財産は分散保管することをお勧めします。

その他の詳細な防犯対策は、当館ホームページ（領事部案内「安全の手引き（2011年1月改訂）<http://www.anzen.mofa.go.jp/manual/bergium.html>」）に記載していますので、参考としてください。